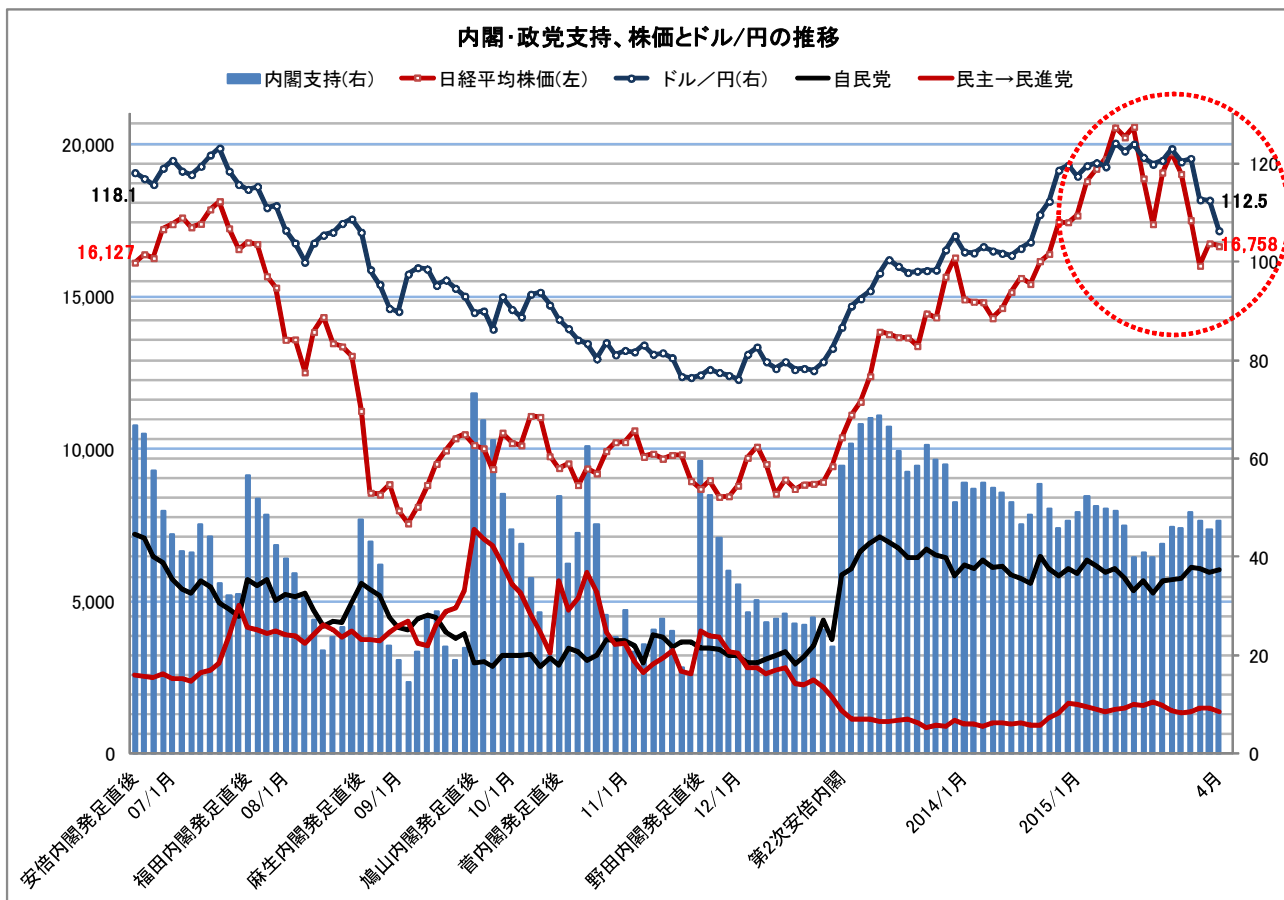


直近の世論調査から－2016. 5. 17(民進党への期待値－支持率も比例代表も減)

1. 安倍内閣の支持率は47.4%に回復、民進党の支持率は8.6%と低迷



①安倍内閣の支持率は、11社平均で47.4%（不支持は37.9%）で前月比1.7ポイント増（同0.4ポイント減）となった。甘利大臣辞任、宮崎議員辞職問題以降、2月、3月と支持率は下がったものの回復することとなった。4月下旬、日銀金融政策決定会合で「現状維持」を決めたことから円相場は急激な「円高ドル安」が進み、株安傾向となっている。

②自民党の支持率も内閣支持率と同様の傾向であり、調査メディアにより数字の開きは大きいものの、4月の支持率は37.5%（前月比0.6ポイント増）となっている。

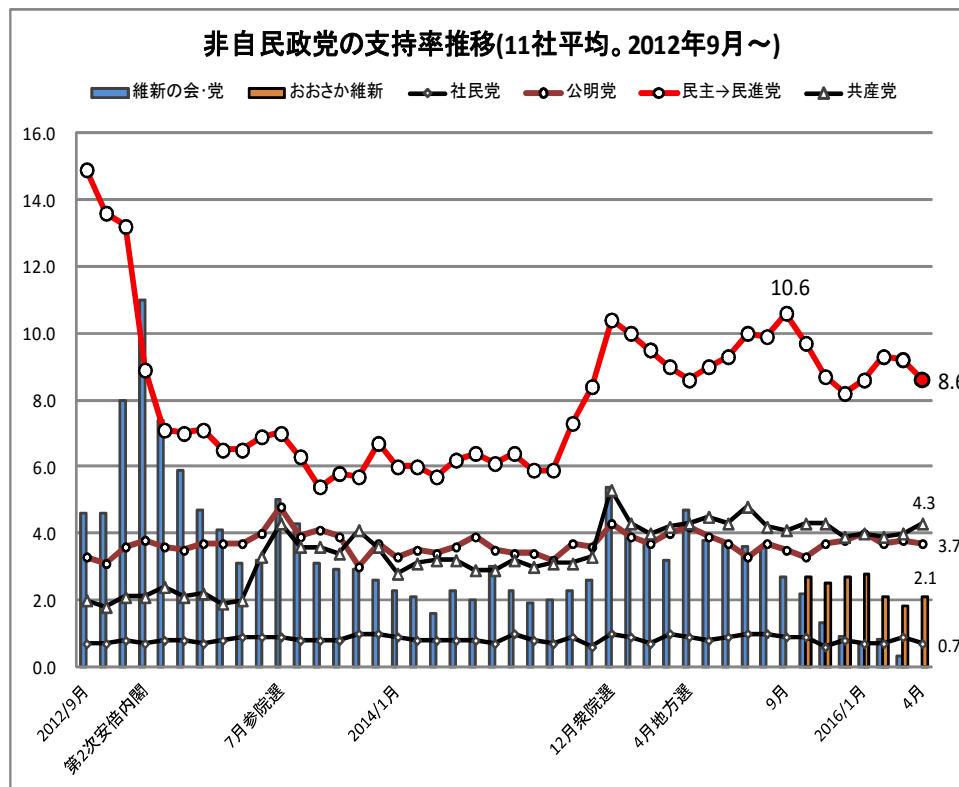
③一方で、3月27日に結党された民進党は、新党結成の効果が期待されてきたものの、4月の支持率は8.6%にとどまり（前月比0.6減）、新党結成前の調査「民主9.2%＋維新0.4%」を下回る状況だ。国会における勢力は一定拡大したものの、支持率は低迷している。その他の政党は、公明党3.7%（前月

政党支持率									
4月	自民	民進	公明	共産	社民	お維新	生活	心	支持なし
日経5.1	46	11	4	5	0	3	0	0	21
毎日4.19	33	8	5	4	1	2	1	0	34
読売4.4	37	6	3	4	0	2	0	0	43
朝日4.12	38	8	3	3	0	2	0	0	34
共同4.30	37.2	9.2	4.4	5.3	1.5	3.6	0.5	0.1	35.7
時事4.15	23.9	4.2	3.1	1.4	0.8	0.8	0.2	0.2	63.6
NHK4.11	34.9	9.1	4.4	4.8	0.5	1.4			33.1
JNN4.3	36.0	7.7	3.3	4.2	0.7	1.4	0.1	0.0	43.2
ANN4.25	46.5	14.0	4.9	5.6	0.6	2.3	0.3	0.0	25.2
FNN4.25	39.0	7.3	3.8	5.2	1.5	4.1	0.5	0.2	36.3
NNN4.18	41.1	9.6	2.3	5.2	1.0	0.8	0.0	0.3	35.4
平均	37.5	8.6	3.7	4.3	0.7	2.1	0.3	0.1	36.8

の支持率は8.6%にとどまり（前月比0.6減）、新党結成前の調査「民主9.2%＋維新0.4%」を下回る状況だ。国会における勢力は一定拡大したものの、支持率は低迷している。その他の政党は、公明党3.7%（前月

比 0.1 減)、共産党 4.3 % (同 0.3 増)、社民党 0.7 % (同 0.2 減)、おおさか維新 2.1 % (同 0.3 増) などである。

## 2. 民進党結成後の評価は厳しく、衆参ダブル選挙の可能性は依然として存在



民主・維新の新党・民進党に		
	期待する	期待しない
読売4.4	31	60
JNN4.3	23	69
朝日4.12	32	58
平均	28.7	62.3

民進党と共産党の選挙協力を		
	評価する	しない
NHK4.11	38	54

安倍首相の経済政策を評価するか		
	評価する	評価しない
読売4.4	39	49
NHK4.11	47	47
朝日4.12	51	46
平均	45.7	47.3

景気の回復感		
	感じる	感じない
読売4.4	18	77

アベノミクスを		
	期待・賛成	期待しない
時事4.15	37.5	50.9
毎日4.19	33	54
日経5.1	36	53
平均	35.5	52.6

参院選では自公過半数維持に		
	賛成	反対
読売4.4	48	41
FNN4.25	55.4	38.6
平均	51.7	39.8

参院選での野党候補統一		
	賛成	反対
読売4.4	45	39
共同4.30	52.6	39.1
平均	48.8	39.1

衆参ダブル選挙に		
	賛成	反対
読売4.4	46	38
JNN4.3	40	41
朝日4.12	39	30
ANN4.25	43	33
共同4.30	44.5	45.1
日経5.1	41	43
平均	42.3	38.4

① 民主と維新の新党・民進党に対する評価は「期待する」は 28.7 % あるものの、結成前の 2 月 (24.1 %)、3 月 (27.5 %) から大きく変化はしていない。共産党との選挙協力に対しても 5 割以上は「評価しない」と厳しい状況ではある。

② 野党の支持率が高まらない一方で、安倍政権の経済政策、アベノミクスや景気回復の実感は得られていないものの、参院選に関しては自公政権の過半数維持は「賛成」が 51.7%と安定志向は強い。

③ 衆参ダブル選挙に対しては「賛成」42.3 %、「反対」38.4 %となっており、消費税増税の先送りや憲法改正を目論む安倍政権には好材料と言える。4 月 14 日に発生した「熊本地震」は甚大な被害であり、被災地では長期的な避難生活が見込まれるため、「選挙どころではない」という風潮は強くなるのだろう。しかし、今月 26、27 日の伊勢志摩サミットを機に一気呵成に政局を作り上げることも考えられる。

## 3. 4.24衆院5区補欠選挙結果から

① 4 月 24 日、衆院 5 区補欠選挙は、野党統一候補の「池田まき」氏が新人同士の対決で善戦したものの、12,325 票差 (前回 4,896 票) で惜敗する結果となった。

2014 年 12 月の衆院選と比較すると、投票結果は、投票率は 5 区全体で△ 0.8 %の 57.63%だ



4. 参院比例代表は？…民進党へ13.4%(▼1.2%減)。その他(熊本地震と消費税10%)

①「比例代表はどの党に？」という調査でも、民進党は「上昇するはずだ」と見ていたのだが、

参議院選挙での比例投票は ※2016年参院選前

	自民	民主	公明	共産	社民	お維新	維新	生活	心	未定
1月5社平均	37.7	11.3	4.2	5.9	0.9	5.9	1.5	0.5		27.9
2月7社平均	36.9	12.7	4.7	5.5	1.0	4.3	1.5	0.7	0.1	25.8
3月8社平均	37.7	14.6	4.4	6.0	1.1	4.0	2.0	0.6	0.5	21.9
4月7社平均	39.2	13.4	4.7	6.1	0.9	4.8		0.7	0.3	18.5

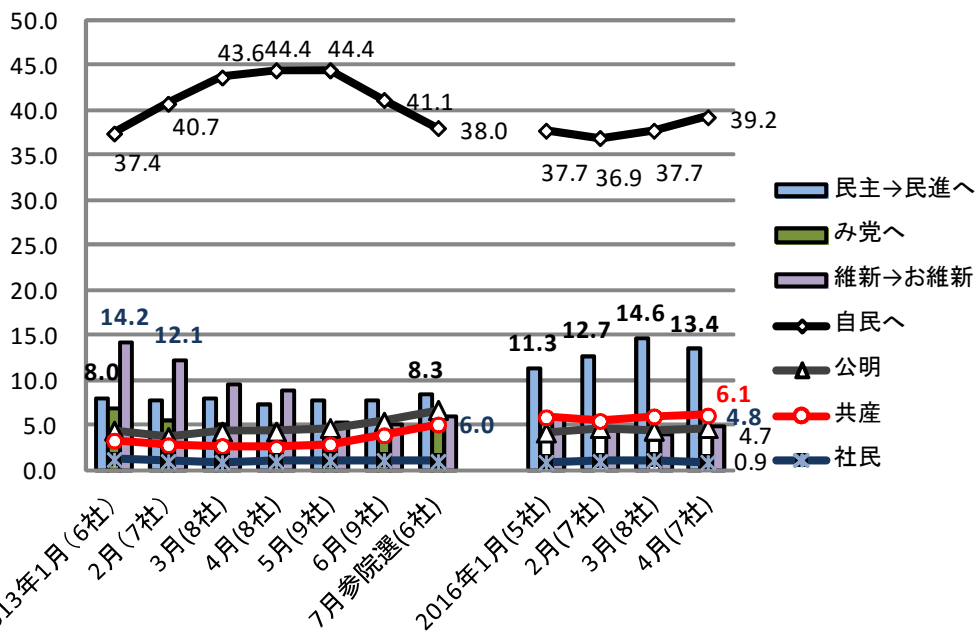
期待した傾向が出ていない。

② 4.14 熊本地震の発生前後では情勢は変化したと思われるが、

5.1 日経調査では「原発再稼働反対」が 61 % と大きく跳ね上がった。震災の影響を受ける可能性のある川内、伊方に関しても運転継続・再開に対する賛成は 3 割を下回り、依然原発の再稼働に対しては世論は厳しい反応を見せている。

② 消費税の引き上げに関しても大きな変化で

参院選で比例代表はどの党に？



原発の再稼働に			消費税10%の来年4月導入に(賛否or延期)			
	賛成	反対		賛成・予定通	反対・延期	
日経5.1		29	61	読売4.4	29	65
NHK4.11		18	43	朝日4.12	32	59
※どちらとも 33			時事4.15	28.9	64.3	
熊本地震—川内原発の運転継続に			NNN4.18	36.0	55.4	
	賛成	反対	毎日4.19	31	59	
ANN4.25	29		55	ANN4.25	26	65
熊本地震—伊方原発の運転再開			共同4.30	28.6	66.9	
	賛成	反対	日経5.1	29	66	
ANN4.25	29		56	平均	30.1	62.6

はないものの、来年4月の引き上げに肯定的な要素はなく、「反対・延期」は 62.6 % (前月比 2.6 ポイント増) と増加している。「再延期」を政局へと目論む安倍政権の意図とは別に増税に対する抵抗感は強くなっている。

☆これまでの「直近の世論調査から」シリーズ、その他のデータをホームページに掲載しています。自由にご利用ください。  
<http://yoronmeeting2013.web.fc2.com/>

(北海道世論調査会まとめ 担当 Yoshida)